

【今年のテーマ】「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は」

《本日のテーマ》 「あなたも、今日から伝道者」

・・信徒のピリポを用いてくださった神・・

《本日のみことば》 使徒8：1～8

- 1 サウロは、ステパノを殺すことに賛成していた。その日、エルサレムの教会に対する激しい迫害が起こり、使徒たち以外はみな、ユダヤとサマリアの諸地方に散らされた。
- 2 敬虔な人たちはステパノを葬り、彼のためにたいへん悲しんだ。
- 3 サウロは家から家に押し入って、教会を荒らし、男も女も引きずり出して、牢に入れた。
- 4 散らされた人たちは、みことばの福音を伝えながら巡り歩いた。
- 5 ピリポはサマリアの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。
- 6 群衆はピリポの話を聞き、彼が行っていたしるしを見て、彼が語ることに、そろって関心を抱くようになった。
- 7 汚れた霊につかれた多くの人たちから、その霊が大声で叫びながら出て行き、中風の人や足の不自由な人が数多く癒やされたからである。
- 8 その町には、大きな喜びがあった。・・・・

《本日のメッセージ》

1、ピリポは、サマリアの町で主の福音を宣べ伝えました。 1～4節

a、ピリポは、使徒ではなく、信徒として教会を支える忠実な奉仕者でした。（使徒6:1～6参照）

①彼は「御霊と知恵に満ちた・評判の良い・信仰と聖霊に満ちた」信徒リーダー7人の内の一人として選ばれた、教会を愛し・喜んで教会に仕えた信徒でした。

②彼は、特に食べ物の中で困難の中にいる人たちのために、奉仕をするために選ばれました。

b、ピリポは、迫害の激しいエルサレムから散らされる途上で、福音を伝えました。

①迫害の手から逃れた彼が宣教したのは、ユダヤ人に反感をもっていたサマリア人の地でした。

②彼は、危険や多くの困難の中でも臆することなく、主の福音を大胆に伝えました。

「今、私は、あなたがたのために受ける苦しみを喜びとしています。私は、キリストのからだ、すなわち教会のために、自分の身をもって、キリストの苦しみの欠けたところを満たしているのです。」
コロサイ 1:24

c、私たちも迫害や困難の中で、宣教をあきらめないようにしましょう。

①福音を伝える時に、私達は失望したり痛みを覚えることもありますが、あきらめず伝えましょう。

②福音を伝えても、拒絶と反発の中で失望したり、あるいはあきらめてはいないですか？

☆「この人はだめです・無理です。・伝道はあきらめた！」・それは悪魔のだまし・罠です。

③主の変わることの無い御心は、「・・・だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるの」（Ⅱペテロ 3:9） だからです。

2、ピリポの宣教によって、サマリアの町に大きな喜びと救いの業が起こりました。

8節、12節

a、ピリポは神の言葉を語り、聖霊によって病を癒し、汚れた霊を追い出す働きをしました。7節

「そして、私のことばと私の宣教は、説得力のある知恵のことばによるものではなく、御霊と御力の現れによるものでした。」
Ⅰコリント 2:4

① ピリポは、聖霊に満たされていたので、みことばに伴うしるしと不思議が伴いました



②ユダヤ人であるピリポに反感をもっていたサマリヤの人たちは、それらのしるしと不思議によって次第に彼の話に耳を傾けるようになりました。

b、御霊の働かれたピリポの宣教により、サマリヤの人々は救われ、洗礼を受けました。

「しかし人々は、ピリポが神の国とイエス・キリストの名について宣べ伝えたことを信じて、男も女もバプテスマを受けた。」 12 節

①サマリヤの人々は、神の国とイエス・キリストの名の救いを受け・洗礼を受けました。

②病の癒し・悪霊からの解放などのしるしと不思議は、みことばが、生ける神のことばであり、完全に信頼できることの証明となります。

「弟子たちは出て行って、いたるところで福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばを、それに伴うしるしをもって、確かなものとされた (※)。」 マルコ 16:20

(※) 「βεβαιούντος ババイオウトス」 「確認する。確立する。保証された。完全に信頼できる」

3、神は、ピリポをさらに豊かに用いてくださいました。 26～40 節

a、神は、彼をエチオピアの宦官の救いのために用い、さらに用いられました。

26 さて、主の使いがピリポに言った。「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」そこは荒野である。

27 そこで、ピリポは立って出かけた。すると見よ。そこに、エチオピア人の女王カンダケの高官で、女王の全財産を管理していた宦官のエチオピア人がいた。彼は礼拝のためエルサレムに上り、

28 帰る途中であった。彼は馬車に乗って、預言者イザヤの書を読んでいた。

29 御霊がピリポに「近寄って、あの馬車と一緒に行きなさい」と言われた。 26～29 節

①サマリヤの町のリバイバルの後、主は彼をエルサレムからガザに下る道に導きました。

ピリポは、そこでエチオピアの宦官一人の救いのために伝道しました。

②ピリポは、さらに、アソトからカイサリアまでの町々に伝道しました。

「それからピリポはアソトに現れた。そして、すべての町を通して福音を宣べ伝え、カイサリアに行った。」 40 節

③ピリポは、神の御心・御霊の導きに完全に従う人でした。

b、ピリポは、伝道のため豊かに用いられたため、「伝道者ピリポ」(使徒 21:8)と言われました。



4、神は、今日のピリポを探し・求めておられます。

a、神は、教会を愛し・教会を支える忠実な信徒を必要としておられます。

①神は、「御霊と知恵に満ちた・評判の良い・信仰と聖霊に満ちた」信徒を求めておられます。

②神は、教会を愛して、教会に忠実に仕える信徒を探しておられます。

b、神は、ピリポのような主のみことばを伝える「信徒伝道者」を求めておられます。

①主の御心を知り・それを悟り・常に主に対して従順であったピリポのような人を。

②みことばを語り、御霊によってしるしと不思議をなし、魂を救いに導くピリポのような人を。

c、宣教には、豊かな収穫が約束されているのです。問題は、『種を蒔く人がいない』ことです。

そして彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」 ルカ 10:2

☆魂の収穫のために、働く人を送ってくださるよう祈り、私を用いてください。と祈りましょう。